

京都大学オープンキャンパスに行ってきました！

8月6日・7日に、約50名の生徒が京都大学のオープンキャンパスに参加しました。午前中は、本校の卒業生であり現役の京都大学生でもある先輩方との交流会を実施しました。先輩方からは、大学生活や専攻分野、受験に向けた取り組みなどについてお話しいただき、生徒からの質問にも丁寧に答えていただきました。生徒たちにとって、自身の高校生活や進路について改めて考える貴重な機会になったことと思います。

午後からは京都大学を訪れ、オープンキャンパスに参加しました。一部の生徒は、本校卒業生の先輩方に大学構内を案内していただきました。キャンパスの規模をはじめ、講義やサークル活動など、高校とは大きく異なる環境に触れ、多くの生徒が新鮮な驚きを感じていたようです。今回の経験が、生徒たちの進路意識をさらに高め、将来の目標に向かって努力するきっかけとなることを期待しています。

〔参加した生徒の感想〕※一部抜粋

Aさん

主に図書館・図書室見学を行ったが、各分野専門書が充実しており、その管理方法が施設によって異なることに驚いた。特に意外だったのが医学部人間健康科学系の図書室だ。医学部だから医学の洋書が中心だろうと考えていたが、意外にもシェイクスピアや源氏物語が置かれていたり情報学の本が置かれていたり、児童に関する本が置かれていたり幅広い本が所蔵されており、あらゆる面から学ぶのだということに驚いた。

しかしこれらを使いこなせなければ意味がないので、情報の活用能力を伸ばしたり、まず洋書が読めるように英語や国語を伸ばしていかなければならないと感じた。

Bさん

先輩と語ろう会が特に心に残った。一年生のときにやっていた参考書など京大生のリアルな声を聴けたお陰でモチベーションが上がった。ネットの情報はどれもいっていることがバラバラでどれを信用していいかわからないことがあり、勉強法などで迷っていたが、今日実際の京大生に聴いたお陰でやるべき具体的なことが明確になってよかった。

Cさん

研究室には普通の学部生の他にも院生の方がたくさんいて、自分の調べたい好きな分野について、突き詰めて研究できるということがよく分かりました。今回の大学訪問を受けて、大学選びの時には「自分の興味のある分野を深く研究できる環境」がある大学を見つけて、そこに行けるように受験勉強をしっかりとやっという、と自分の中で意識づけることができました。

Dさん

まず、大学にきちんと足を踏み入れるのが今回の訪問ではじめてだったのもあり、大学という場所の雰囲気を全身で感じられたのがとてもよかったと思いました。京都大学は言わずと知れた難関大学ですが、キャンパスライフも勉強漬けというわけではなく、自分のやりたいことをされている学生さんばかりだということも知ることができて、素敵なおところだと思いました。自分のやりたいことができるという「自由の校風」は、どの大学にもあるわけではないので、京都大学はすごく魅力的な大学だと感じました。改めて、今まであまりイメージが湧かなかった大学という場所をより具体的に知る体験ができて非常によかったと感じています。

